

平成 29 年 2 月 16 日

修成建設専門学校
校長 堤下 隆司 様

学校関係者評価委員会
委員長 藤田 晴樹

学校関係者評価委員会報告

平成 27 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 評価者

平成 28 年度 学校法人修成学園 学校関係者評価委員

委員名簿（敬称略）	
丸山 徹	修成建設専門学校 後援会 役員
相賀 勝	元 江坂花と緑の情報センター センター長
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役
武井 彰	西部造園土木株式会社 代表取締役社長
田中 文雄	大和田連合振興 町会長
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭
荻野 起三子	学校法人修成学園 評議員

2. 評価期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

3. 委員会の開催状況

第一回委員会 平成 28 年 10 月 12 日（会場 修成建設専門学校 会議室）

第二回委員会 平成 29 年 2 月 15 日（会場 修成建設専門学校 会議室）

4. 学校関係者評価委員会報告

2回開催された委員会において、修成学園山下理事長、堤下学校長、さらに各学科長より、平成27年度の業務について自己評価報告書に基づき報告を受け、評価内容の確認を行った。また委員各自が、自己評価報告書に示されている評価項目に対し「自己評価結果」「改善に向けた取り組み」「今後の改善方策」の3項目について採点(4点満点)を行い、その結果を示した。さらに、委員各位からの意見を取りまとめ報告書とする。

5. 採点結果(平均値)

調査項目	自己評価 結果	改善に向けた 取り組み	今後の 改善方策
基準1(教育理念・目的・育成人材像)	4.00	4.00	3.88
基準2(学校運営)	3.75	3.57	3.63
基準3(教育活動)	3.88	3.88	3.75
基準4(修学成果)	3.75	3.75	3.75
基準5(学生支援)	3.88	3.63	3.63
基準6(教育環境)	3.88	3.88	3.75
基準7(学生の募集と受け入れ)	4.00	4.00	3.88
基準8(財務)	4.00	3.88	3.75
基準9(法令等の遵守)	4.00	3.88	3.88
基準10(社会貢献)	4.00	4.00	4.00
総計	3.91	3.84	3.79

6. 意見

- ・各学科とも資格取得のための数値目標を明確にしていた。目標達成のためより一層のカリキュラムの充実等に努めてほしい。
- ・学生のニーズが高まっているインターンシップのフォローアップ体制の強化をお願いしたい。
- ・教育の理念、教育目標等を掲げて学校の発展や学生の将来のための基礎教育に取り組まれているのが、自己評価報告書でよく伝わってきます。2年課程の専修学校での限られた時間ではありますが、更なる学生の能力向上に取り組んでいただけることを期待しております。
- ・意見交換会等を行う等、卒業生と在校生の交流の場を持っていただきたい。今まで行われていないのではないか。
- ・現状で行われている以上に資格を持った卒業生を講師として採用してはどうか。
- ・連絡先の分かる卒業生約 18,000 人全国で活躍しています。学校教職員と違った意見を持っている方が大勢存在しているので、同窓会組織、学校がこれまで以上に連携を密にして学校および同窓会組織の発展に繋がるかと思えます。
- ・理念、教育目標に沿った学校運営は概ね問題なく進めておられると認識しています。
- ・修成祭(学園祭)では学生、教職員、地域住民が一体となって学校の存在感を示していたように感じています。
- ・教員の確保には少し不安はありますが、卒業生の活躍が鍵になるかと思えます。
- ・社会的な期待の高まる中、更なる充実を望んでおります。

以上